

# 公立宍粟総合病院の概要について

公立宍粟総合病院

## 1 医療政策の動向

日本の高齢化率(65歳以上人口の割合)は、2018年(平成30年)に28.1%となり、4人に1人が高齢者という本格的な高齢社会を迎えています。(内閣府令和元年版高齢社会白書)

少子高齢化の流れは今後も加速し、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療・介護のニーズが急増すると予測されており、2025年に備えて、医療・介護サービスの提供体制の整備が進められています。

その一つとして、超高齢社会にも耐える医療提供体制を構築するため、2014年(平成26年)6月に成立した「医療介護総合確保推進法」によって、「地域医療構想」が制度化されたところです。

地域医療構想は、将来人口推計をもとに2025年に必要となる病床数(病床の必要量)を4つの医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現する取り組みです。

## 2 兵庫県保健医療計画

兵庫県では、医療法の規定に基づき、将来にわたり、良質かつ適切な医療を、効率的・効果的に提供できる体制を確保するため、「兵庫県保健医療計画」を策定し、この計画の一部として、「地域医療構想」を策定しています。

また、地域の実情に応じた各圏域の取り組みを推進するため、地域の意見を集約し、重点推進方策や圏域毎の地域医療構想などを記載する保健医療計画(圏域版)を策定しています。

※宍粟市は「播磨姫路圏域」です。

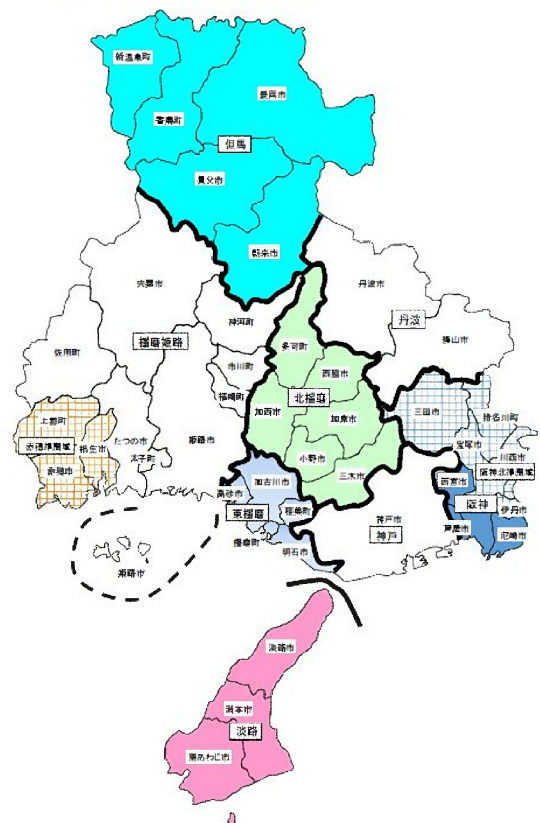
〔宍粟市、姫路市、たつの市、太子町  
佐用町、神河町、市川町、福崎町〕

### ○特定中核病院に指定

2次保険医療圏域内の拠点病院との近接性に乏しく、2次救急など一定の医療機能の充実が必要な中核病院を、「特定中核病院」として指定し、その取り組みを県が積極的に支援していく。

指定病院：公立神崎総合病院  
公立宍粟総合病院

図1：2次保健医療圏域・準圏域地図



※特定中核病院とは

公立神崎総合病院と公立宍粟総合病院は、医療機関が集中している地域から離れた中山間地域に立地しているため、圏域内の拠点病院との連携も困難な場合が生じている。また近隣に同等以上の機能を有する病院がなく、両病院間においても十分な医師確保ができていないことから、両病院相互の診療科の役割分担や連携強化を行うことが困難な状況にあるが、両病院とも2次救急など一定の医療機能の充実が必要な中核病院であることから、圏域北部の「特定中核病院」として位置づけ、関係者との調整を行い、医師確保等の取組みについて、県からの優先的な支援を行い、医療提供体制の充実を図っていくこととしている。

【圏域における重点的な取り組み（概要）】

(1) 救急医療

西播磨地域では、公立宍粟総合病院等により、地域で二次救急を担っているが、宍粟市の山間部からの救急搬送は、搬送に多くの時間を要するため、製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターのドクターヘリを利用している。西播磨地域の救急医療を維持するためには、引き続き地域で二次救急を維持できる体制整備が必要であり、高度、専門的な医療の確保については、中播磨地域との医療連携の維持・強化を図っていく。

(2) 小児医療

西播磨地域は、小児科医師数が少なく、小児科救急対応病院群輪番制には、赤穂市民病院、赤穂中央病院、公立宍粟総合病院の3病院が参加しているが、常勤の小児科医師は1～3名と少なく、平日夜間を中心に空白が生じている。

今後も1次から3次までの小児救急医療にかかる医療機関の連携体制の充実を図るため、小児救急医療電話相談の一層の充実を図り、不要不急の受診減少のため、その啓発周知等、小児救急に関する知識の普及啓発を図る。また小児科の医師については、行政、医師会、医療機関が連携しながら、確保に努め、現在の小児医療体制を維持・強化する。

(3) 周産期医療

西播磨地域において分娩を取り扱う医療機関は赤穂中央病院と公立宍粟総合病院の2施設であり、平成30年11月13日には公立宍粟総合病院が周産期医療協力病院に指定されている。

正常分娩からハイリスク妊産婦やハイリスク新生児まで対応可能な周産期医療体制の充実を図るため、総合周産期母子医療センターを中心に周産期医療に関連する病院等の連携・強化に努めるとともに、産科医師の確保に努め、周産期医療体制を維持する。

周産期母子医療センター及び周産期医療協力病院一覧（播磨姫路圏域）

機能	医療機関名
総合周産期母子医療センター	姫路赤十字病院
周産期医療協力病院	姫路聖マリア病院、製鉄記念広畑病院 公立宍粟総合病院

#### (4) へき地医療

へき地医療拠点病院として、また特定中核病院として、宍粟市内の2次救急医療体制の確保、手術を要する診療科等の維持、地域包括ケアシステム構築のため診療所等への支援、代診医の派遣等の役割を果たすための体制整備を図る。また、他の医療機関と連携して、総合診療科を志向する医師の指導体制を構築し、総合診療科が開設できるよう支援する。

### 3 宍粟市の基本方針

宍粟市では、地域医療体制の充実を促進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進するため、「宍粟市における地域医療推進のための基本方針」を策定しています。

#### (1) 2025年に向けた病院機能の充実【公立宍粟総合病院の位置づけ】

##### ◆基本的な考え方と取り組み

###### ◆基本的な考え方◆

本市の地域包括ケアシステムを構築するためには、公立宍粟総合病院の入院機能が重要な位置づけとなることを前提として、人口構成の変化や改定がつづく診療報酬の内容に対応し、効率的で安定した病院運営を図る必要がある。

###### ◆取り組み◆

- ①病床数の適正化に取り組む。
- ②病床機能の適正化に取り組む。  
ア 急性期病床    イ 回復期病床    ウ 急性期病床と回復期病床の連携強化
- ③高度急性期病床を設置する中・西播磨圏域等の病院との連携の強化を図る。
- ④慢性期病床を設置する中・西播磨圏域等の病院との連携強化を図る。
- ⑤在宅医療の充実促進に取り組む。
- ⑥病院施設の整備検討を進める。

#### (2) 救急医療体制の維持・整備

##### ◆基本的な考え方と取り組み

###### ◆基本的な考え方◆

県保健医療計画による救急医療体制のうち、本市の1次救急医療と公立宍粟総合病院の2次救急医療体制の維持強化を図る。

###### ◆取り組み◆

- ①公立宍粟総合病院における救急医療提供体制の充実を図る。
- ②市内一般診療所による休日当番医制度等の維持継続に取り組む。



### (3) 地域医療を支える人材の確保・育成

#### ◆基本的な考え方と取り組み

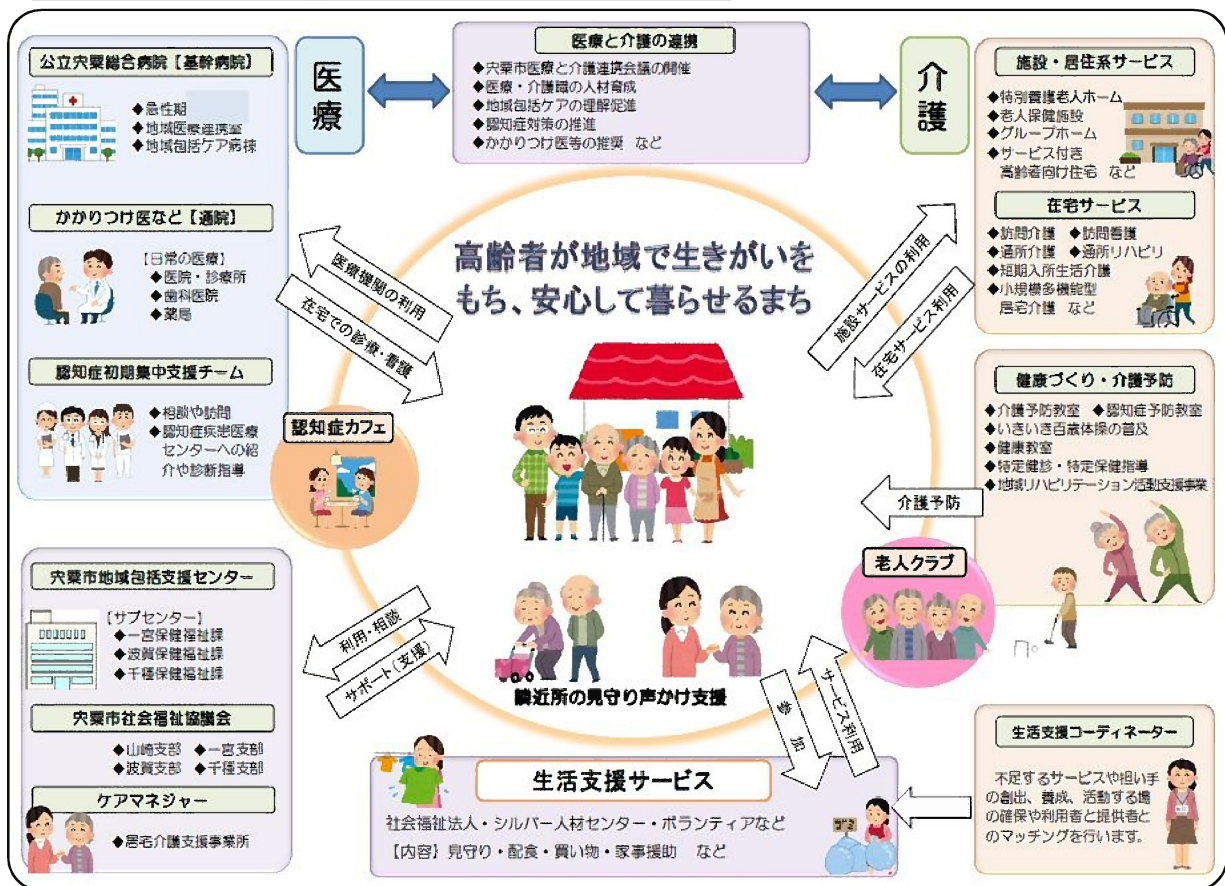
##### ◆基本的な考え方◆

公立宍粟総合病院の専門職員の人材を確保する。  
地域医療・在宅医療を担う人材の確保と育成に努める。

##### ◆取り組み◆

- ①公立宍粟総合病院の人材確保に取り組む。
- ②在宅医療・介護の人材確保に取り組む。

#### 参考 宍粟市地域包括ケアシステムイメージ図



## 4 公立穴栗総合病院の概要

### (1) 主な沿革

- ・ 別冊 病院概要 P.1 参照

### (2) 病床機能

[許可病床数 199 床] (令和元年 10 月 1 日現在)

急性期病棟	3 階南病棟	55 床	3 階北病棟	40 床	計	95 床
地域包括ケア病棟	4 階病棟	42 床	5 階病棟	42 床	計	84 床
稼働病床数					合計	179 床

### (3) 診療科目

- ・ 内科 ・ 外科 ・ 整形外科 ・ 眼科 ・ 放射線科 ・ 小児科
- ・ 産婦人科 ・ 耳鼻咽喉科 ・ 泌尿器科 ・ 皮膚科 ・ 精神科
- ・ リハビリテーション科 [12 診療科]

< 専門外来 >

- ・ 循環器内科 ・ 呼吸器外来 ・ 乳腺外来 ・ 小児科特殊外来
- ・ がん放射線治療外来 ・ 補聴器外来 ・ コンタクト外来

### (4) 職員数の状況 (令和元年 10 月 1 日現在)

職種	正規職員数	臨時職員数	計
医師 ※	24	25	49
研修医	5	0	5
助産師	11	0	11
看護師	133	19	152
准看護師	2	2	4
看護補助員	4	10	14
薬剤師	9	1	10
臨床検査技師	9	1	10
放射線技師	7	0	7
管理栄養士	3	0	3
理学療法士	8	0	8
作業療法士	3	0	3
視能訓練士	0	2	2
言語聴覚士	1	1	2
臨床工学技師	4	0	4
臨床心理士	0	1	1
社会福祉士	2	0	2
事務職員	15	15	30
調理師等	8	1	9
その他	0	9	9
合計	248	87	335

※医師 (常勤職員) の内訳

内科 11 名 ・ 外科 4 名 ・ 泌尿器科 2 名 ・ 放射線科 1 名 ・ 小児科 3 名  
産婦人科 3 名

(5) 施設概要

① 敷地面積

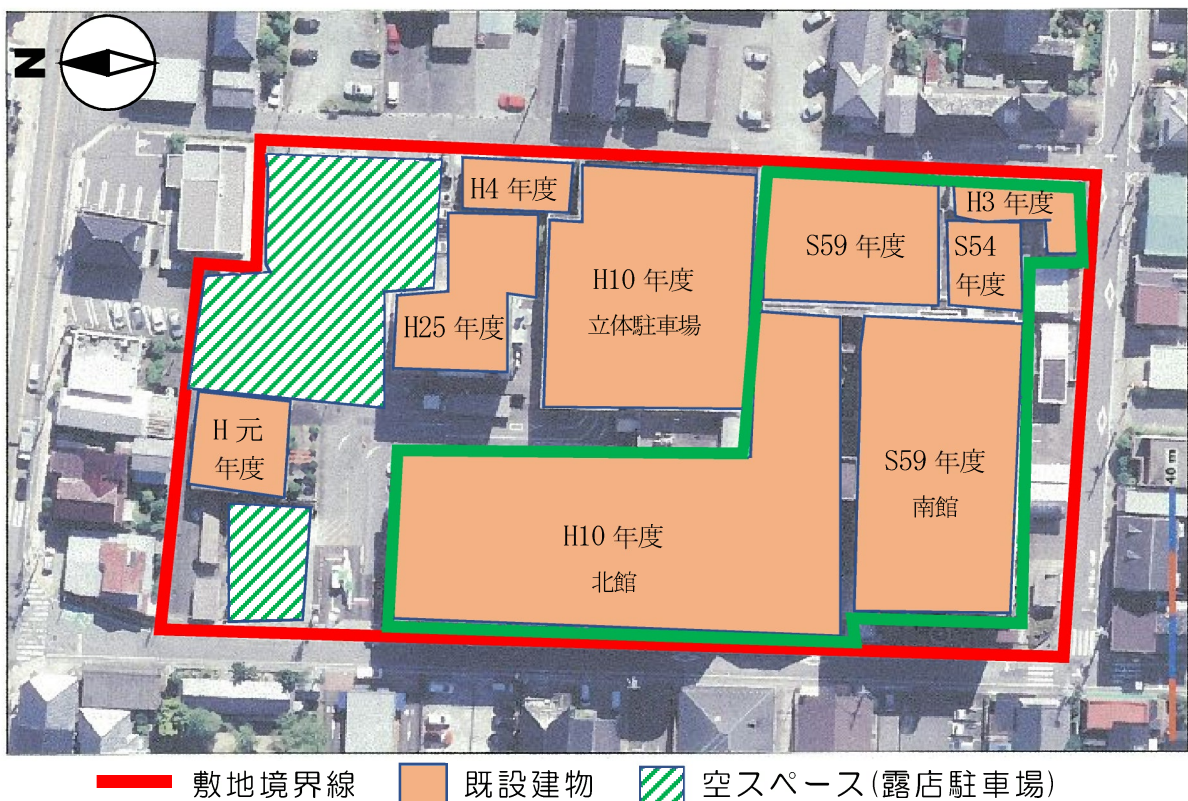
用途	所在地	面積	備考
病院敷地	鹿沢 93 番ほか同一画地	10,266.55 m <sup>2</sup>	所有地
第 2 駐車場	鹿沢 126 番 1 ほか	1,226.77 m <sup>2</sup>	所有地
医師宿舎	鹿沢 91-14 番ほか	656.98 m <sup>2</sup>	所有地
職員駐車場	段 57 番 1 ほか	3,312.73 m <sup>2</sup>	借入地
職員駐車場	鹿沢 78 番 7 の一部	650.00 m <sup>2</sup>	市有地
合計		16,113.03 m <sup>2</sup>	

② 建物延床面積

用途	構造等	面積	備考
病院	鉄筋コンクリート造 5 階建	13,503.51 m <sup>2</sup>	緑枠内建物
立体駐車場	鉄骨造 3 階建	2,460.48 m <sup>2</sup>	
託児所棟	鉄骨造 3 階建	581.04 m <sup>2</sup>	
ポンプ室他	コンクリートブロック造平屋建	77.5 m <sup>2</sup>	
医師宿舎	木造 2 階建戸建 3 棟	372.58 m <sup>2</sup>	3 世帯
医師宿舎	鉄筋コンクリート造 3 階建 2 棟	733.02 m <sup>2</sup>	10 世帯
合計		17,728.13 m <sup>2</sup>	

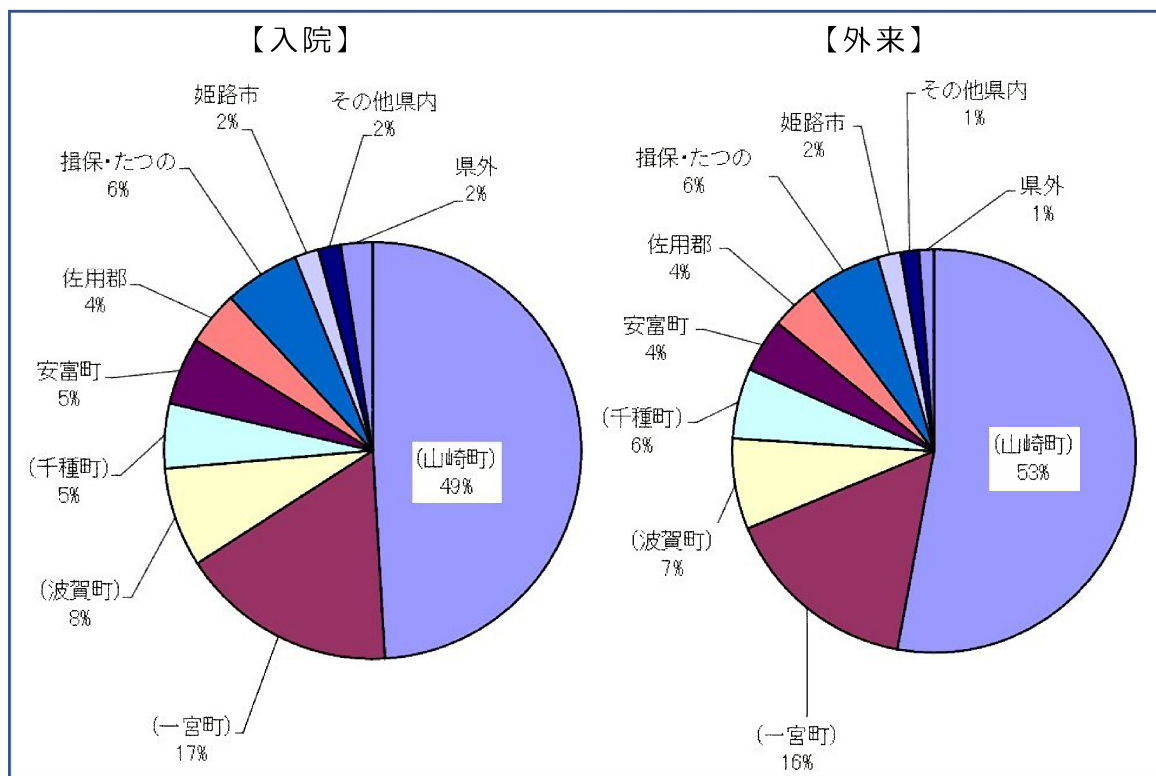
※その他：医師借上げ宿舎 17 部屋・看護師借上げ宿舎 8 部屋

(参考) 現在の配置図

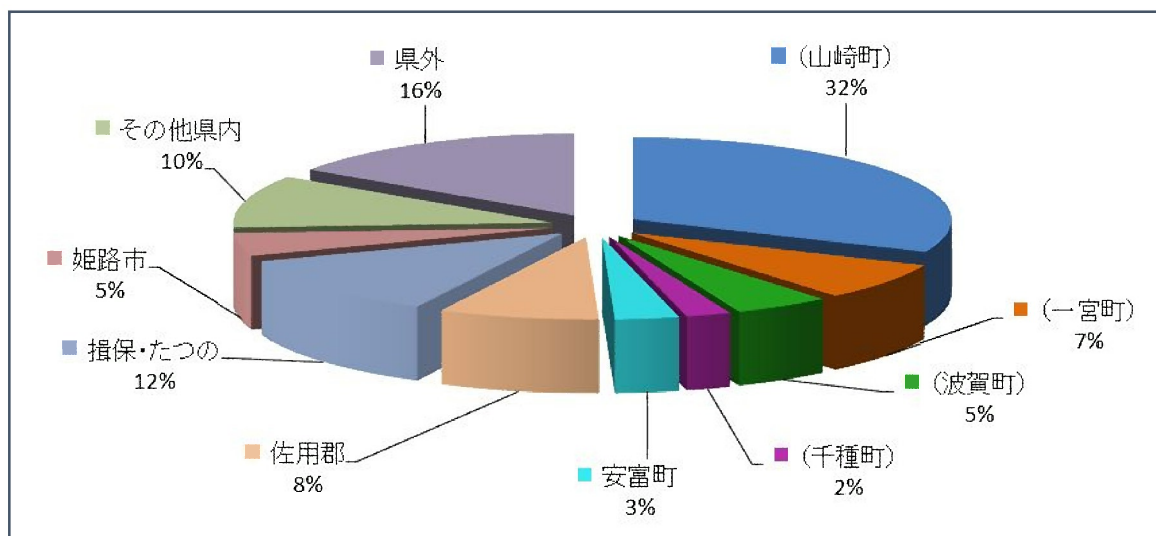




(6) 診療圏域別患者数



(7) 診療圏域別出生件数





## <患者数の推移>

【延入院患者数】 ※退院患者を含む

(人)

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
令和元年度	3,757	4,076	4,268	4,670	4,627								21,398	4,280
平成30年度	3,925	3,460	3,486	3,631	4,345	3,812	3,520	3,815	3,877	3,614	3,864	3,888	45,237	3,770
平成29年度	4,058	4,084	3,752	4,106	4,433	4,415	3,935	3,958	4,551	4,157	3,949	4,040	49,438	4,120
平成28年度	4,456	4,630	4,515	4,494	4,391	4,428	4,706	4,200	4,244	4,140	4,079	4,124	52,407	4,367

【一日平均入院患者数】 ※一日平均入院患者数 = 延入院患者数 ÷ 月の稼働日数

(人)

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	備考
令和元年度	125.2	131.5	142.3	150.6	149.3								139.9	※8月まで
平成30年度	130.8	111.6	116.2	117.1	140.2	127.1	113.5	127.2	125.1	116.6	138.0	125.4	123.9	
平成29年度	135.3	131.7	125.1	132.5	143.0	147.2	126.9	131.9	146.8	134.1	141.0	130.3	135.4	
平成28年度	148.5	149.4	150.5	145.0	141.6	147.6	151.8	140.0	136.9	133.5	145.7	133.0	143.6	

【延外来患者数】

(人)

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
令和元年度	7,765	7,962	7,792	8,497	8,511								40,527	8,105
平成30年度	7,090	7,678	7,551	7,828	8,124	6,944	8,157	8,113	7,645	7,236	7,089	7,897	91,352	7,613
平成29年度	7,341	7,702	7,859	7,317	8,012	7,470	7,892	8,025	7,607	6,974	6,679	7,704	90,582	7,549
平成28年度	7,650	7,898	8,291	8,403	8,828	8,462	8,359	8,738	8,360	7,472	7,541	8,473	98,475	8,206

【一日平均外来患者数】 ※一日平均外来患者数 = 延外来患者数 ÷ 月の外来稼働日数

(人)

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	備考
令和元年度	388.3	419.1	389.6	386.2	405.3								397.3	※8月まで
平成30年度	354.5	365.6	359.6	372.8	353.2	385.8	370.8	386.3	402.4	380.8	373.1	394.9	374.4	
平成29年度	367.1	385.1	357.2	365.9	364.2	373.5	375.8	401.3	380.4	367.1	351.5	366.9	371.2	
平成28年度	382.5	415.7	376.9	420.2	401.3	423.1	418.0	436.9	440.0	393.3	377.1	385.1	405.2	

## <病棟別病床利用率の推移>

令和元年度（～5月192床、6月～179床）

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
3階	56.4	66.3	79.5	73.3	73.5								69.8
3階北	68.2	62.5	68.1	85.8	72.0								71.3
4階	56.0	62.4	89.4	90.5	96.2								78.9
5階	86.1	85.0	92.3	90.5	94.4								89.7
全体	65.2	68.5	79.5	84.2	83.4								76.2

平成30年度（192床）

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
3階	64.1	54.4	59.1	57.4	65.5	60.5	54.3	64.4	64.3	60.4	68.9	57.8	60.9
3階北	73.9	60.0	62.3	69.6	80.4	62.8	58.7	54.0	48.7	41.1	62.9	68.1	61.9
4階	57.7	46.1	50.4	48.3	62.1	59.0	46.5	58.6	62.0	58.4	67.3	56.5	56.1
5階	81.6	77.0	74.0	74.2	90.2	86.3	82.5	90.3	85.9	82.9	90.2	84.2	83.3
全体	68.1	58.1	60.5	61.0	73.0	66.2	59.1	66.2	65.1	60.7	71.9	65.3	64.6

平成29年度（205床）

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
3階	67.7	65.7	62.7	64.8	66.4	70.2	59.3	62.1	70.2	68.2	68.1	69.3	66.2
3階北	54.4	58.0	63.9	69.8	76.1	73.5	65.6	75.4	78.4	51.6	57.9	56.5	65.1
4階	65.8	65.7	53.2	51.5	61.3	65.0	59.4	56.6	62.1	59.2	67.3	56.6	60.3
5階	72.8	65.9	65.0	73.8	77.0	78.9	64.3	66.3	77.6	78.9	78.9	70.0	72.5
全体	66.0	64.3	61.0	64.6	69.8	71.8	61.9	64.4	71.6	65.4	68.8	63.6	66.1

平成28年度（205床）

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
3階	71.8	71.0	70.4	67.5	65.3	66.2	68.1	63.2	60.8	61.9	69.1	67.2	66.9
3階北	73.6	71.0	76.2	84.8	70.4	75.3	81.2	85.3	78.1	77.3	72.0	52.5	74.8
4階	70.2	68.4	67.2	64.9	61.5	62.8	70.4	60.8	65.0	50.8	61.2	60.3	63.6
5階	74.5	80.6	80.7	69.5	79.6	84.5	78.4	68.4	66.3	74.0	82.3	76.2	76.3
全体	72.5	72.9	73.4	70.7	69.1	72.0	74.1	68.3	66.8	65.1	71.1	64.9	70.1

※退院患者を含む

<病棟別平均在院日数の推移>

令和元年度

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
3階	10.6	10.0	10.1	8.0	8.7								9.5
3階北	8.5	7.8	7.0	7.7	6.8								7.6
4階	10.9	11.5	14.3	11.3	13.7								12.3
5階	22.6	20.5	29.3	17.3	18.5								21.6
全体	13.7	13.6	15.2	12.3	13.2								13.6

平成30年度

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
3階	10.8	10.4	9.1	8.8	9.5	12.1	10.0	10.4	9.1	10.7	11.1	9.3	10.1
3階北	9.1	7.9	7.6	7.7	8.1	10.9	7.3	6.9	9.0	6.9	8.9	7.6	8.2
4階	11.6	10.2	11.7	8.5	10.3	10.8	8.9	11.1	9.9	12.3	10.3	11.3	10.6
5階	23.1	22.3	17.9	21.6	15.8	27.2	25.0	22.6	20.3	28.3	19.6	17.4	21.8
全体	14.2	13.5	12.6	11.6	12.6	15.5	12.8	13.4	13.0	14.6	14.0	12.7	13.4

※ 病棟ごとの平均在院日数の計算には、転棟（転入・転出）患者数を含む。

# 公立穴栗総合病院 決算の推移

収益的収支の状況 (税抜)

(単位：千円)

区分		年度	26年度決算額 (A)	27年度決算額 (B)	28年度決算額 (C)	29年度決算額 (D)	30年度決算額 (E)	対前年度 増減額 E - D	対前年度 増減率 (%)
収 益	医 業 収 益	入 院 収 益	1,957,134	2,063,147	2,106,748	1,998,131	1,946,938	△ 51,193	△ 2.6
		外 来 収 益	1,065,450	1,075,594	1,126,832	1,088,750	1,169,501	80,751	7.4
		そ の 他	210,063	223,608	231,673	242,389	234,616	△ 7,773	△ 3.2
		うち他会計負担金	76,800	83,061	89,300	97,911	104,841	6,930	7.1
	小 計 ①	3,232,647	3,362,349	3,465,253	3,329,270	3,351,055	21,785	0.7	
	医 業 外 収 益	他 会 計 繰 入 金	240,754	323,378	329,829	313,103	312,875	△ 228	△ 0.1
		国 県 補 助 金	3,816	3,692	3,689	3,433	4,264	831	24.2
		そ の 他	29,691	29,402	29,650	25,763	27,709	1,946	7.6
		小 計 ②	274,261	356,472	363,168	342,299	344,848	2,549	0.7
	合 計 ③		3,506,908	3,718,821	3,828,421	3,671,569	3,695,903	24,334	0.7
費 用	医 業 費 用	給 与 費	2,315,250	2,357,245	2,387,324	2,319,674	2,375,654	55,980	2.4
		材 料 費	597,566	646,289	695,684	655,868	629,659	△ 26,209	△ 4.0
		うち薬品費	289,431	314,689	335,048	321,140	287,565	△ 33,575	△ 10.5
		経 費	485,313	467,658	439,237	436,068	439,508	3,440	0.8
		報 償 費	55	50	57	78	146	68	87.2
		報 光 熱 費	71,265	70,685	68,171	67,785	61,677	△ 6,108	△ 9.0
		委 託 費	232,184	216,431	222,625	217,577	228,171	10,594	4.9
		借 料	48,462	46,145	44,980	45,753	48,005	2,252	4.9
		減 価 償 却 費	314,151	255,224	251,434	242,341	240,010	△ 2,331	△ 1.0
		そ の 他	15,118	12,902	10,945	6,772	14,977	8,205	121.2
	小 計 ④	3,727,398	3,739,318	3,784,624	3,660,723	3,699,808	39,085	1.1	
	医 業 外 費 用 ⑤	159,489	157,821	159,015	151,599	142,104	△ 9,495	△ 6.3	
	特 別 損 失	104,413	0	0	0	0	0	-	
合 計 ⑥	3,991,300	3,897,139	3,943,639	3,812,322	3,841,912	29,590	0.8		
収 支 差 引	医 業 収 支 ① - ④	△ 494,751	△ 376,969	△ 319,371	△ 331,453	△ 348,753	△ 17,300	5.2	
	経常収支 (①+②) - (④+⑤)	△ 379,979	△ 178,318	△ 115,218	△ 140,753	△ 146,009	△ 5,256	3.7	
	総 収 支	△ 484,392	△ 178,318	△ 115,218	△ 140,753	△ 146,009	△ 5,256	3.7	
その他未処分利益剰余金変動額		200					0		
当 年 度 末 累 積 欠 損 金		4,474,615	4,652,934	4,768,152	4,908,905	5,054,914	146,009	3.0	
当 年 度 不 良 債 務 額							0		
患 者 数	入 院	年 延 数	49,666	51,689	52,407	49,438	45,237	△ 4,201	△ 8.5
		1日平均	136.1	141.2	143.6	135.4	123.9	△ 12	△ 8.5
	外 来	年 延 数	97,008	96,030	98,475	90,582	91,352	770	0.9
		1日平均 ※1	397.6	395.2	405.2	371.2	374.4	3	0.9
1日1人当たり 診療単価(円)	入 院	39,406	39,915	40,200	40,417	43,039	2,622	6.5	
	外 来	10,983	11,201	11,443	12,019	12,802	783	6.5	
病床利用率 (稼働病床比) %		66.4	68.9	70.0	66.1	64.6	△ 2	△ 2.3	
平 均 在 院 日 数 (日)		14.9	15.2	15.5	15.2	13.4	△ 2	△ 11.8	
一 般 会 計 繰 入 金	3条予算	企業債償還利子等	317,554	406,439	419,129	411,014	417,716	6,702	1.6
		不良債務解消補助金						0	-
	4条予算	企業債償還元金	241,597	189,224	188,665	189,698	186,626	△ 3,072	△ 1.6
		建設改良費出資金						0	-
		奨学金補助	14,597	17,023	13,238	11,905	20,014	8,109	68.1
		その他		4,934	8,942	2,235	1,774	△ 461	△ 20.6
合 計		573,748	617,620	629,974	614,852	626,130	11,278	1.8	
医業収支比率		%	%	%	%	%			
% 医業収益		86.7%	89.9%	91.6%	90.9%	90.6%	-	△ 0.3	
% 医業費用									
給与費比率		%	%	%	%	%			
% 給与費		71.6%	70.1%	68.9%	69.7%	70.9%	-	1.2	
% 医業収益									
職員数 (3月末現在) ※2		285.7	292.4	292.5	300.1	296.0	△ 4.1	△ 1.4	